

流通と販売実践で学ぶ

津山商高生が青空市場

ソシオ一番街

津山商業高校(津山市山北)の生徒による青空市場「TSUSHOふれっしゅまーけつと」が4日、市中心部のソシオ一番街で開かれた。

商品の流通と販売を実践を通して学ぶ課題研究の一環で毎年実施。本年度は地域ビジ

ネス科と情報ビジネス科の3年生13人が5月から定期的に取り組み、この日は鏡野町の直売所で仕入れたトマトやタマネギ、葉物野菜を1袋100円前後、ブドウを一房800〜850円で販売した。生徒たちは買い物客

らに「津山商業高校です」「野菜が安いですよ」と大きな声で呼び掛け、立ち寄った客にはお薦めの品を説明した。同まーけつとの社長を務める石本大貴君(18)は「校外での販売は難しいが、高校生らしく笑顔で誠心誠意、商品を売りたい」と話していた。

青空市場は11日、



自分たちで仕入れた野菜を販売する津山商高生

11月8、15日、12月定。
13日にも開かれる予
(入野晶彦)